

# これから良いことがきっとあるはず



はたちを迎える皆さん、本日は「はたちを祝う会」にあたり、心からお祝いを申し上げます。

渋川市も市町村合併から2月で20周年を迎えます。皆さんと一緒に本市も歩みを進めて参りました。

皆さんは、今日という節目を迎えるまでに、たくさんの学びや経験を積み重ねてこられました。中国の古典『荀子』に「従藍而青（青はこれを藍より取りて、しかも藍より青し）」という言葉があります。原料の藍から染め出される青は、何度も染め重ねることにより、元の藍よりもさらに深く鮮やかである、という意味です。後から生まれた者が何度も挑戦を重ね、先人を超えていくことのたとえであり、若い皆さんのための言葉として、今まさにふさわしいものだと感じております。どうか、これまで育んできた力をさらに磨き、挑戦を繰り返し行い、周囲の期待を超えて、大きくはばたいてください。

そして、はたちを迎える節目にこそ大切にしていただきたい心があります。それは「報恩感謝」のおもいです。これは、今日の自分があるのは、多くの支えや恩に恵まれてきたからであり、その恩に報い、感謝を忘れずに生きるという姿勢を示す言葉です。家族や友人、学校、地域、皆さんの歩みを支えてきた人々や環境に思いを馳せ、そのつながりをこれから的人生で生かしていただきたいと思います。

分断と対立をエネルギーにする社会から、お互いを認め合う社会へと変革しなければならないとおもいます。どれほど時代が変化しようとも、人と人との信頼と絆は、皆さんの人生を力強く支える礎です。感謝の心を持つことは、周囲との良い関係を築くだけでなく、自身をより豊かに成長させる源にもなります。

はたちを迎える皆さんのが未来が、希望に満ち、力強く輝くことを心から祈っています。

これから的人生、みなさんには、良いことがきっとあるはず。本日は誠におめでとうございます。

渋川市議会議長 安力川 信之